

報道関係者各位

令和7年4月11日

舞鶴市「Gemini」研修で職員のデジタルスキル底上げへ 「AI、うちの課にも来い！」地域活性化起業人と挑む業務改革の最前線

舞鶴市は、職員が生成AIを業務で使いこなし、市民サービスの向上と業務効率化を飛躍的に進めるための研修&プチワークショップを開催します。令和7年2月から地域活性化起業人としてKDDI株式会社から赴任してもらっている横田氏を講師に、「生成AIは何となくわかるけど、どうやって業務に使えばいいかわからない…」などの悩みや課題に対し、具体的な活用方法をわかりやすくレクチャーします。

研修は、生成AI初心者向けの「初級編」と、より実践的な活用を目指す「応用編」の2種類を用意。各回10～15人規模の少人数制で、計8回実施します。

◆研修で何が変わる？

繰り返しの多い作業時間を大幅に削減！

アイデア出しや資料作成をAIが強力サポート！

職員一人ひとりがより創造的で、人にしかできない業務に集中できる環境を実現！

◆開催日

【初級編】

令和7年4月14日(月)・15日(火) 14時30分～16時30分、16日(水)・17日(木) 9時30分～11時30分

【応用編】

令和7年4月21日(月)～24日(木) 14時30分～16時30分

◆開催場所

市役所別館5階男性和室

◆内容

初級編...生成AIの活用シーン、プロンプト(指示文)の書き方のコツ、実践ワークショップ など

応用編...生成AIの活用シーン応用編、業務活用のコツ、実践ワークショップ など

◆講師

デジタル推進課 横田 大直(令和7年2月から地域活性化起業人としてKDDI株式会社から赴任)

※地域活性化起業人制度...三大都市圏の企業の社員を地方自治体に派遣し、地域活性化を図る取組。企業は、社員の専門知識やノウハウを地域に提供することで社会貢献を行い、人材育成やキャリアアップの促進が可能。自治体は、外部の視点やノウハウを活用することで、地域課題の解決や地域活性化を促進。制度には、企業が社員を派遣する「企業派遣型」と、社員が副業として個人で参加する「副業型」がある。国は、地方自治体が負担する経費の一部を補助することで、地域活性化を支援。令和5年度は、起業人数779人、自治体数449団体、企業数330社と、いずれも過去最高を記録。



SDGs未来都市

舞鶴市 デジタル推進課(担当: 吉崎)

〒625-8555 舞鶴市宇北吸1044

TEL:0773-66-1092、FAX:0773-66-1097

E-mail:digital@city.maizuru.lg.jp